

ウィニコットフォーラム 2017 福岡

—「子どものこころ」と発達促進的環境—

我々は、医療、福祉、教育の場で「子どものこころ」と出会う。

目の前の子どものこころに、そして大人の中の子どものこころに、どう向き合っているのか、どう向き合っていくのか。「子どものこころ」にとって発達促進的環境とは、どんなものだろうか。

招待講演：「子どもが育つ・子どもを育てる」

講師：松崎 佳子

(広島国際大学心理科学研究科特任教授)

福岡市児童相談所所長を経て、九州大学大学院人間環境教授として活躍。平成 29 年度 4 月より現職。福祉と心理臨床が交差する被虐待児童の家庭的養護にも携わる。

期日：平成 29 年 12 月 23 日（土・祝）9:00—17:00

会場：電気ビル共創館大会議室 福岡市中央区渡辺通 2 丁目 1-8 2

(地下鉄七隈線渡辺通駅降りてスグ。西鉄薬院駅より、徒歩 7 分)

会費：7000 円。定員：130 名（先着順）。

申込：web 上からお申し込みください。(<https://form.os7.biz/f/1b92bce2/>)

*申し込み後、実行委員会よりメールにて会費振り込み先を連絡します。 *入金確認後、参加番号をお知らせします。**この手続き終了をもって受付完了とします。***参加番号はお控え頂き、当日受付にてお知らせください。

*医師、心理士、教師、ケースワーカー、保育士等**守秘義務を保持される方**に限りです。

メインテーマ：「子どものころ」と発達促進的環境

我々は、医療・福祉・教育の場で、「子どものころ」と出会う。

目の前の子ども、そして大人の中の子どものころはどう育つのだろうか、どう育てていけばよいのだろうか。個々のころに向かい合いながら、考え続け、働きかけ、見守り、後押しして、教諭す。

かつて、精神分析家であり小児科医であるウイニコットは、第二次大戦後の破壊されつくしたロンドンで、子どもにとって発達促進的環境の大切さを繰り返して訴えた。目を覆い、耳を塞ぎたいような事実を目の当たりにするこの現代日本でも、あらためてウイニコットに倣う必要があるのではないかと考えるものである。

今回ウイニコットフォーラムでは、ウイニコット研究の論客によるシンポジウムに加え、福祉と臨床心理学が交差する場所で活動を続ける松崎佳子先生をお招きして、子どもが育つこと、子どもを育てることについて、日本の現状を踏まえて講演をいただく。

さらに、児童養護施設での事例について、事例検討の時間を持つ予定である。

現場に携わる多くの医師、心理士、教師、ケースワーカー、保育者の参加を期待する。

プログラム

＊ ＊ 午前 ＊ ＊

＊ 開会の辞：あらためて子どもを取り上げること：川谷大治（川谷医院）

＊ シンポジウム：「子どものころ」と発達促進的環境

話題提供者

：山崎 篤（中村学園大学短期大学部）：子どもと発達促進的環境

：妙木浩之（東京国際大学）：共視論的空間としての発達促進的環境

：館 直彦（天理大学、たちメンタルクリニック）

：「ああ、憎たらしい、お前なんか大嫌いだ」－憎むこと、生き残ること－

指定討論：岩永洋一（川谷医院）

＊ ＊ 午後 ＊ ＊

＊ 講演「子どもが育つ・子どもを育てる」

：松崎佳子（広島国際大学心理科学研究科特任教授）

福岡市児童相談所所長を経て九州大学大学院人間環境学府教授として活躍。

平成 29 年 4 月より現職。

＊ 事例検討「児童養護施設における思春期女子とのプレイセラピー」

報告者：山田悠未（九州大学大学院人間環境学府）

討論

：松崎佳子、山崎 篤、妙木浩之、館 直彦、杉本 流

お問い合わせ) yamasaki@nakamura-u.ac.jp ウイニコットフォーラム実行委員会 山崎

Winnicott Forum

ウニコットフォーラム 2017 福岡

—「子どものこころ」と発達促進的環境—

期 日：平成 29 年 12 月 23 日（土・祝）

時 間： 9:00 — 17:00

会 場：電気ビル共創館大会議室:福岡市中央区渡辺通2丁目1-82
（地下鉄 七隈線渡辺通駅 降りてスグ。西鉄薬院駅より徒歩7分）

招待講演：「子どもが育つ・子どもを育てる」

講師：松崎 佳子

（広島国際大学心理科学研究科特任教授）

福岡市児童相談所所長を経て、
九州大学大学院人間環境学府教授として活躍。平成29年4月より現職。
認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN理事を務めるなど、
福祉と心理臨床が交差する被虐待児童の家庭的養護にも
長年携わっている。



会費：7000円

定員：130人（先着順）

申込：web上からお申込みください。（URL: <https://form.os7.biz/f/1b92bce2/>）

- * 申し込み後、実行委員会よりメールにて会費振り込み先を連絡します。
- * 入金確認後、参加番号をお知らせします。この手続き終了をもって受付完了とします。
- * 参加番号はお控え頂き、当日受付にてお知らせください。
- * 医師、心理士、教師、ケースワーカー、保育士等**守秘義務を保持される方**に限ります。

Winnicott Forum 2017

メインテーマ:「子どものころ」と発達促進的環境

我々は、医療・福祉・教育の場で、「子どものころ」に出会う。
目の前の子ども、そして大人の中の子どものころはどう育つのだろうか、どう育てていけばよいのだろうか。個々のころに向かい合いながら、考え続け、働きかけ、見守り、後押しして、教え諭す。かつて、精神分析家であり小児科医でもあったウィニコットは、第二次世界大戦後の破壊されつくしたロンドンで、子どもにとっての発達促進的環境の大切さを繰り返し訴えた。目を覆い、耳を塞ぎたくないような事実を目の当たりにするこの現代日本でも、あらためてウィニコットに
做う必要があるのではないかと考えるものである。
今回ウィニコットフォーラムでは、ウィニコット研究の論客によるシンポジウムに加え、福祉と臨床心理学が交差する場所で活動を続ける松崎佳子先生をお招きして、子どもが育つこと、子どもを育てることについて、日本の現状を踏まえて講演をいただく。
さらに、児童養護施設での事例について、事例検討の時間を持つ予定である。
現場に携わる多くの医師、心理士、教師、ケースワーカー、保育者の参加を期待する。

プログラム

＊ ＊ 午前 ＊ ＊

- ＊ 開会の辞：あらためて子どもを取り上げること：川谷大治（川谷医院）
- ＊ シンポジウム：「子どものころ」と発達促進的環境

話題提供者

- ：山崎 篤（中村学園大学短期大学部）：子どもと発達促進的環境
- ：妙木浩之（東京国際大学）：共視論的空間としての発達促進的環境
- ：館 直彦（たちメンタルクリニック）
- ：「ああ、憎たらしい、お前なんか大嫌いだ」－憎むこと、生き残ること－

指定討論：岩永洋一（川谷医院）

＊ ＊ 午後 ＊ ＊

- ＊ 講演「子どもが育つ・子どもを育てる」
：松崎佳子（広島国際大学心理科学研究科特任教授）
福岡市児童相談所所長を経て九州大学大学院人間環境学府教授として活躍。
平成29年4月より現職。
- 司会：稲員修平（川谷医院）

＊ 事例検討「児童養護施設における思春期女子とのプレイセラピー」

- 報告者：山田悠未（九州大学大学院人間環境学府）
- 討論
：松崎佳子、山崎 篤、妙木浩之、館 直彦、杉本 流（川谷医院）
- 司会：恒吉徹三（山口大学）

お問い合わせ) yamasaki@nakamura-u.ac.jp ウィニコットフォーラム実行委員会 山崎

